10月24日 岩手県沖の地震

（2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動）

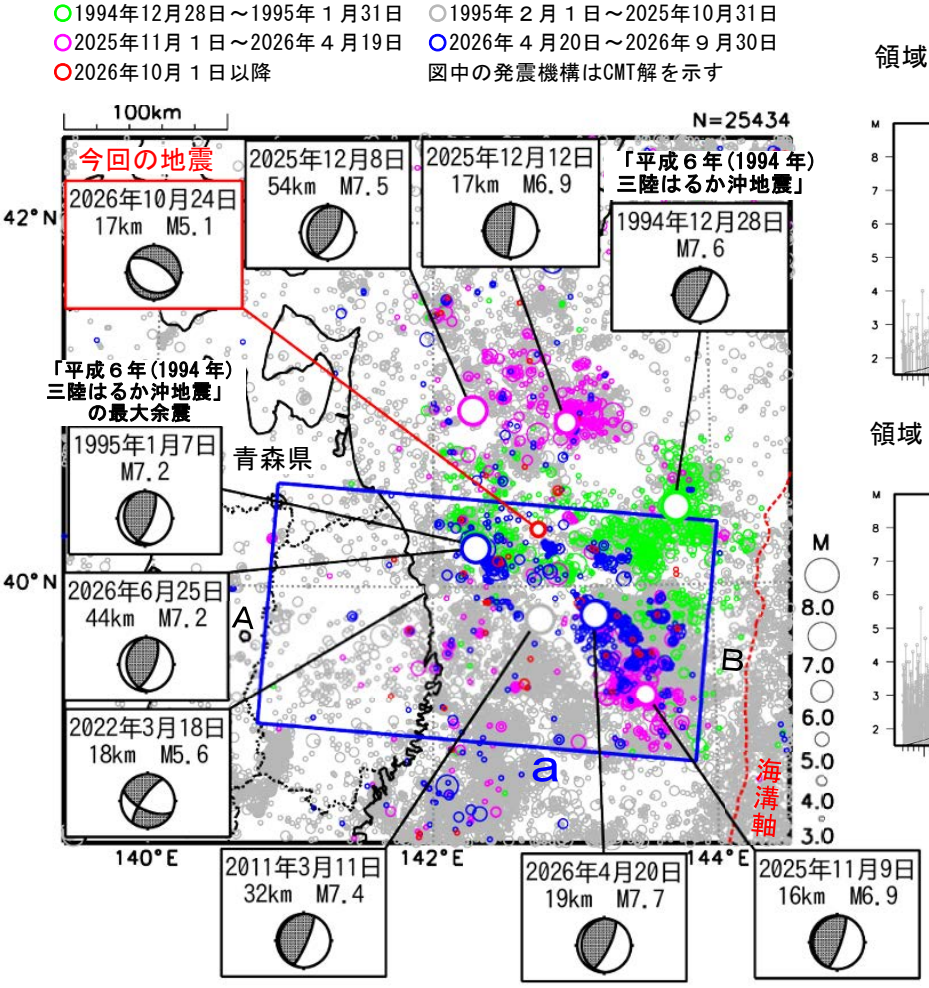
2026年10月24日01時07分に岩手県沖の深さ17kmでM5.1の地震（最大震度３）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北東－南南西方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

2020年９月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、2022年３月18日に深さ18kmでM5.6の地震（最大震度５強）が発生し、住家一部破損１棟の被害が発生している（被害は総務省消防庁による）。また、この領域ｂでは2026年4月20日のM7.7の地震（最大震度５強）の発生以降、地震活動が活発となっている。

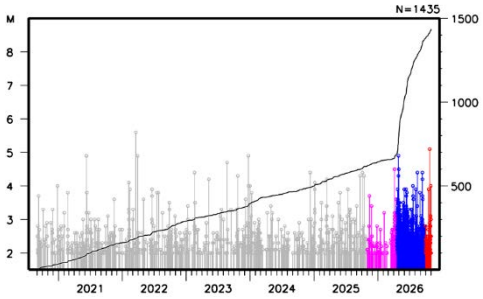
なお、今回の地震の震源周辺（領域ｃ）では、2025年11月９日にM6.9の地震（最大震度４）、2026年４月20日にM7.7の地震（最大震度５強）、同年６月25日にM7.2の地震（最大震度６強）など規模の大きな地震が相次いで発生しており、活発な地震活動が継続している。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、1995年１月７日にM7.2の地震（最大震度５、「平成６年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震）が発生している。

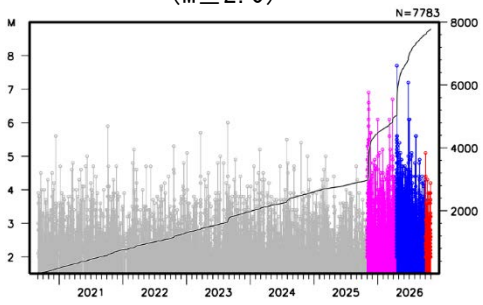
震央分布図
（1994年12月28日～2026年10月31日、深さ０～140km、M≧3.0）



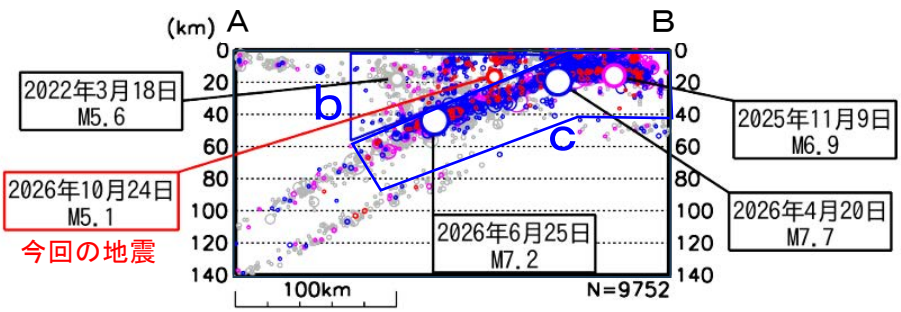
領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図
（M≧2.0）



領域ｃ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図
（M≧2.0）



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）
（2020 年９月１日～2026 年 10 月 31 日、M≧2.0）

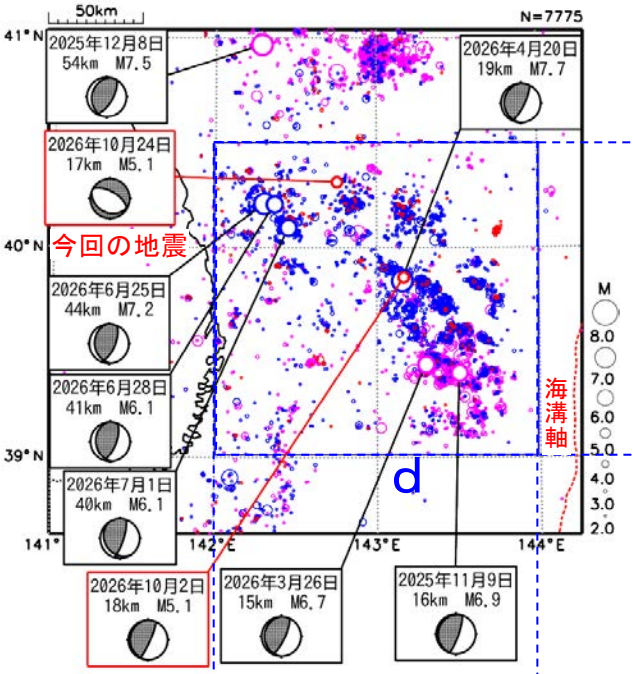


2025年11月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｄ）では、2026年４月20日に発生したM7.7の地震以降、地震活動域が北西側に広がり、６月25日のM7.2の地震、今回のM5.1の地震が発生するなど、地震活動は活発な状態が続いている。

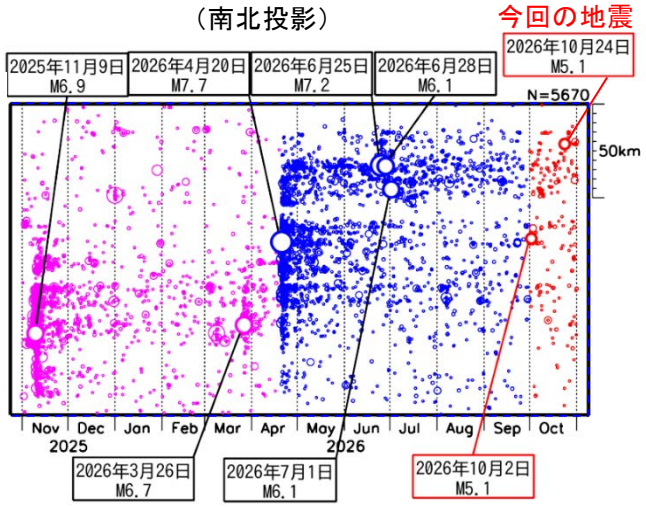
領域ｄでは、2026年10月１日から31日までに震度１以上を観測する地震が10回（震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回）発生した。

震央分布図及び領域ｄ内の時空間分布図
（2025年11月１日～2026年10月31日、
深さ０～80km、M≧2.0）

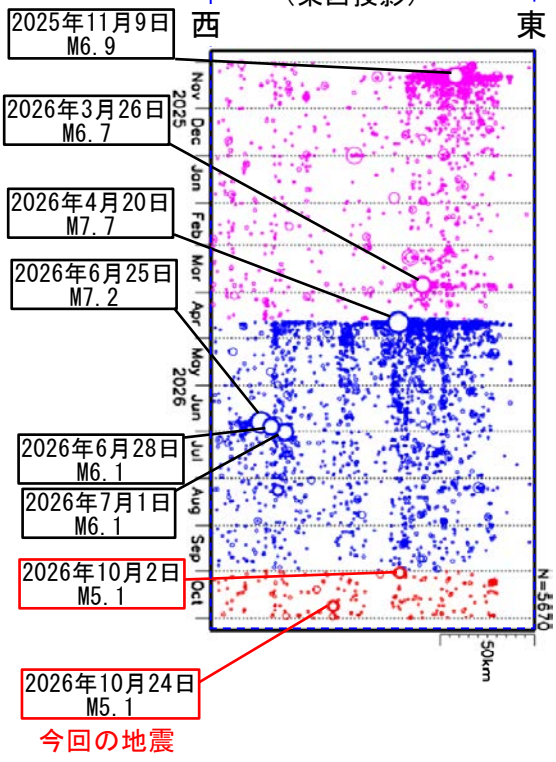
○2025年11月１日～2026年４月19日　○2026年４月20日～2026年９月30日
○2026年10月１日以降　図中の発震機構はCMT解を示す



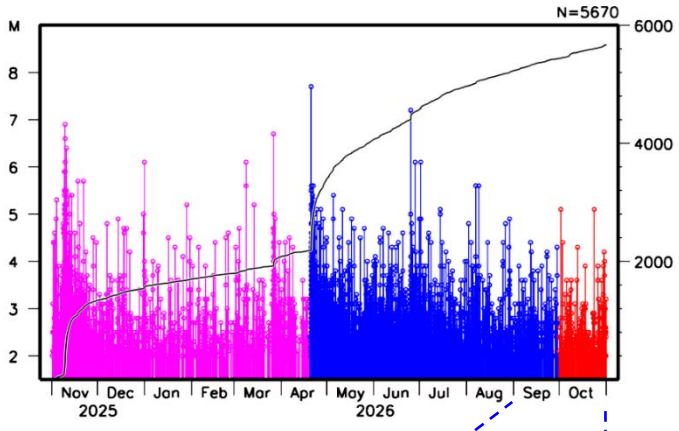
（南北投影）

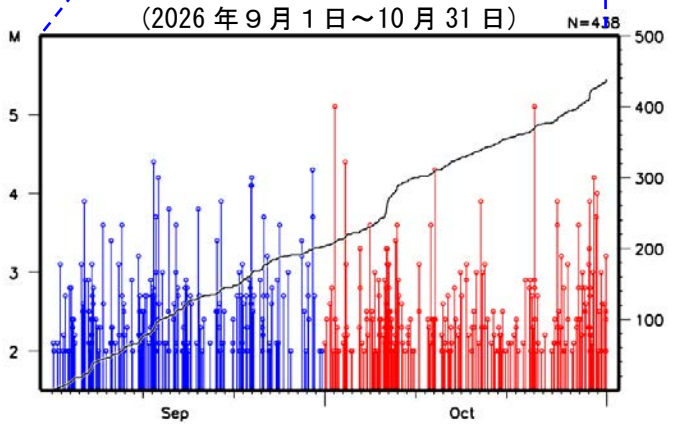


（東西投影）



領域ｄ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

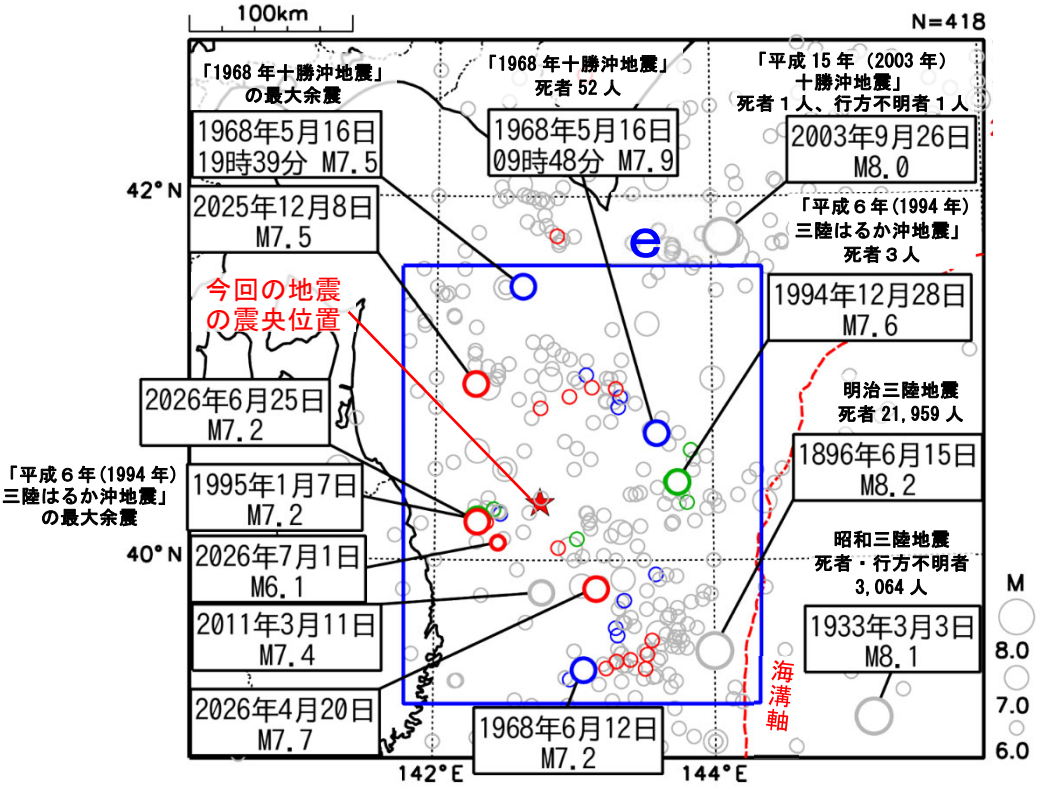




1885年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｅ）は、Ｍ７を超える大規模な地震や、それに伴う津波が度々発生しており、地震活動が活発な領域である。1896年６月15日には、M8.2の地震（明治三陸地震）に伴う大規模な津波が発生し、死者21,959人に上るなど、甚大な被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

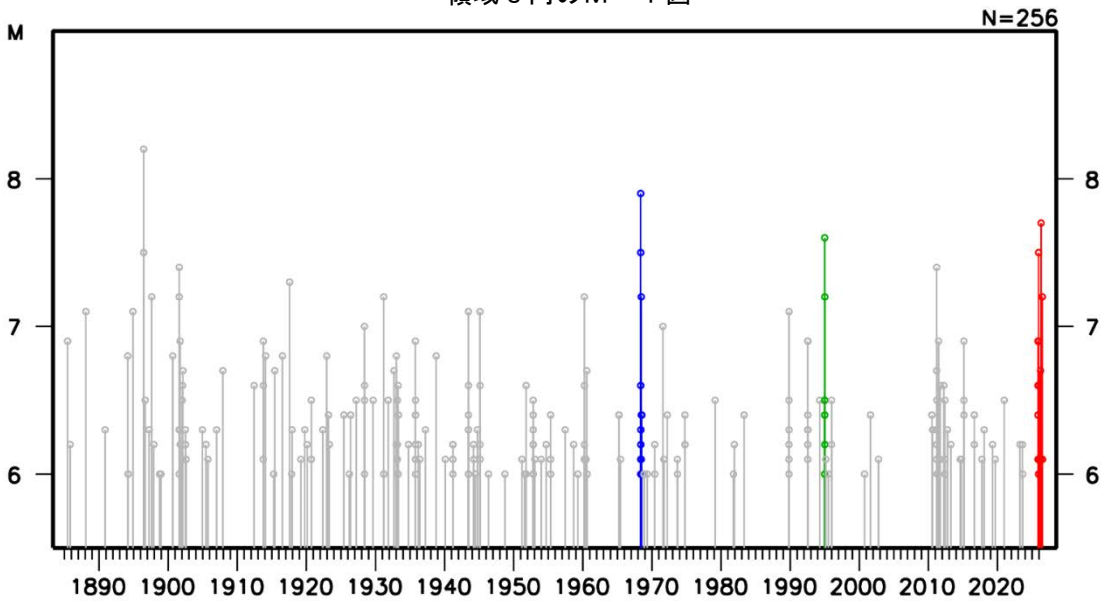
震央分布図
（1885年１月１日～2026年10月31日、
深さ０～100km、M≧6.0）

○1968年５月16日～1968年７月31日　○1994年12月28日～1995年１月31日　○2025年11月１日以降
○上記以外の期間



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による※１。
被害は、「日本被害地震総覧」による。

領域ｅ内のＭ－Ｔ図



※１宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，57，401-463，1982.
宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642，1985.
茅野一郎・宇津徳治，日本の主な地震の表，「地震の事典」第２版，朝倉書店，2001，657pp.